

0

留学だより Vol.5

(January 30th)

こんにちは、大野です。日本はいよいよ受験シーズンでしょうか。
クリスマス/お正月が終わって学校が始まり日常に戻ってしまった感がありますが、日の出がどんどん早くなっていて、もうすぐ春だとワクワクしてしまいます。

さて、同じく4年・戸塚さんの留学だよりを読んで下さった方はご存知かと思いますが、12/28に戸塚さんがイギリスに来てくれ、冬休み後半を一緒に過ごしました。久しぶりに会うことができ楽しかったですし（こちらに来てから初めて会う日本人です!）、フライトやPCRテストの手配をする中で、色々なところに電話をかけたたり職員の方に質問したりと、とても良い経験になりました。

という事でその1週間にした事が戸塚さんと同じなのですが、私の留学だよりでは、主に一緒に作った食べ物についてご紹介しようと思います

～焼きそば～



～肉じゃが～



～肉じゃが(ベジタリアン)～



～麻婆豆腐～



～餃子～



～餃子(ベジタリアン)～



～おにぎり～



～お寿司～



～お寿司(ベジタリアン)～



～天ぷら～



+大学芋とだし巻き卵（あまりにも見栄えが良くないため写真無し）

ホストファミリーのほとんどが食にとっても保守的&材料が手に入りにくい、というのを言い訳に、あまり日本食を作ることが出来ていなかったのですが、この機会を逃してはいけません！ということで、やっとまともな日本食を作りました笑（1部、中華料理も混ざっています）。醤油、みりん、お酢、のり、お米は大型スーパーのアジア食品コーナーで手に入れることができ、だし、青のり、巻き簾、麻婆豆腐のもとなどは日本から持ってきたものを使用しました。薄切り肉が売っていないので肉じゃがのお肉はソーセージを切って代用し、りんごとチーズが家にあっただので変わり種として天ぷらに加えてみました。意外と好評で嬉しかったです。（ちなみに！おにぎりはホストシスター作です！！）

上の写真からもわかるように、いくつかの料理は普通のものに加えて、ベジタリアン対応バージョンも用意しました。これは、この日、家に来ていた親戚の中にベジタリアンがいたからなのですが、実はイギリスは、ベジタリアン（肉や魚を食べない）・ビーガン（肉や魚に加え、卵や乳製品も食べない）の普及率がとても高い国です。私も、ホストファミリーの1人がベジタリアン、1人がペスカタリアン（お肉は食べないが魚は食べる）で、友達にも何人かビーガンの子がいるので、とても身近に感じています。日本ではまだまだあまり普及していないので、ベジタリアンなんて生活が大変そう、と思いがちですが全くそんなことはなく、レストランには必ずベジタリアン・ビーガン対応メニューがあり、スーパーにはかなり大きな専用コーナーがあります。とは

いえ、出汁からドレッシング、お菓子までほぼ全てのものに魚の粉末(?)が使われている日本では、ベジタリアンになるのはまだそう簡単ではなさそうです。

(その他関連写真)



←お正月飾りを
日本から送って
もらいました



↑戸塚さんの留学だよりを
ご覧ください！



↑12/31は毎年このようなビュッフェ
だそうです

年越しの瞬間は日本と似ていて、テレビの周りに家族で集まりカウントダウンをしました。コロナ禍前の大晦日は、家に親戚や友達が大勢集まりパーティー状態になるのが恒例だったそうですが、今年はこじんまりとしていて静かでした。

翌1月1日は“お正月”という雰囲気はなく、感覚的には普通の土曜日という感じでした。

(新型コロナウイルスの状況)

世界中でオミクロン株が流行し、先行きがわからない状況ですが、ウェールズの様子をわかる範囲でお伝えしようと思います。こちらではクリスマス頃にピークを迎え、色々な規制が強化されました(教室内でもマスクを外さない、外食や映画は1家族6人まで、帰国時のPCRなど)。その影響で冬休み明け2週間ほど学校がオンラインになりましたが、徐々に落ち着いてきていて、先週(1/24~)から学校が対面に戻り、その他の規制も緩和されました。新型コロナに関してウェールズはイングランドに比べて常に保守的なので、イングランドでの状況はまた少し違うと思います。

1 月は mock exam (模擬試験) がありました。今のところ心理学のテストが返ってきましたが、思っていたよりできていて安心しています！そして早いもので留學生活の半分が終わってしまいました。あとで後悔することのないように、初心に戻って色々な事に挑戦する 1 ヶ月にしたいです。

今月も最後まで読んで下さりありがとうございました。次号もお楽しみに！

大野